

# 試作デルニモーター東京ドームで走る！

## 原動機付先頭誘導用自転車の試作研究

### はじめに

原動機付先頭誘導用自転車（デルニモーター）は、国際競技大会で、世界戦、ワールドカップ、国内では国体、全日本アマチュア選手権、学生選手権等でのケイリン競技の先頭誘導用として使用されている。

また、競技力向上とした訓練では、オートバイを使用した高速訓練が不可欠な状況下にある。そこで、今回、バンクに優しく、高速訓練に対応できるデルニモーターを試作したので、ここに概要を報告する。

### 1. デルニモーターの仕様

デルニモーターは、エンジンを小型化し、加速性を主眼に設計した。

- (1)エンジン：排気量80cc 2サイクル 9馬力
- (2)タイヤサイズ：タイヤ外径598mm
- (3)最高速度：80km/h
- (4)ホイールベース：（写真1）1038mm
- (5)トップチューブの長さ：560mm
- (6)ハンガ下がり：0mm
- (7)オフセット：60mm
- (8)キャストアングル：73度
- (9)グラウンドラインと立てパイプ角度：68度
- (10)リヤセンタ：460mm

### 2. デルニモーターの特徴

- (1)軽量でバンクに優しい。
- (2)国産車のため補修の対応が敏速に可能。
- (3)加速性に優れている。
- (4)最高80km/hの高速が可能である。

(5)高速度訓練で選手の技能向上に役立つ。

### 3. 実走行と結果

1995年U. C. I. トラック競技ワールドカップ第4戦が7月18日(火)から7月20日(木)に東京ドームで開催され、開発したデルニモーターを公式練習およびケイリン競走に使用した。

ケイリン競技は、最初35km/hの速度で先頭誘導し、最終600m前までの1周を、時速45km/hで先導する。

実際レースに使用した結果、好評であった。また、競技前には、デルニモーターでバンクを走行し、スピードを上げて選手の練習を行い好評であった。

写真2は、練習状況、写真3は、ケイリン競技においてデルニモーターで先頭誘導を行っている状況である。

（研究指導部）



写真2 練習状況

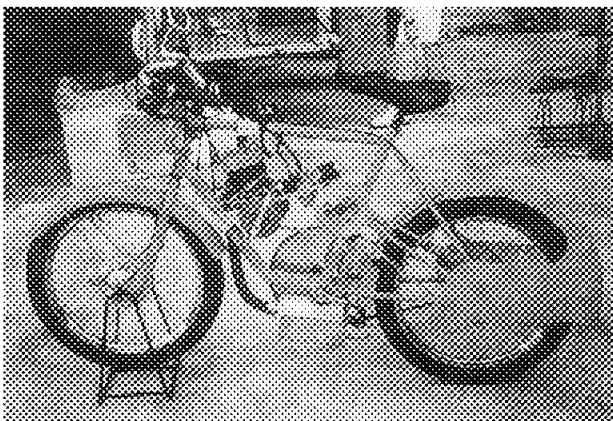


写真1 デルニモーター

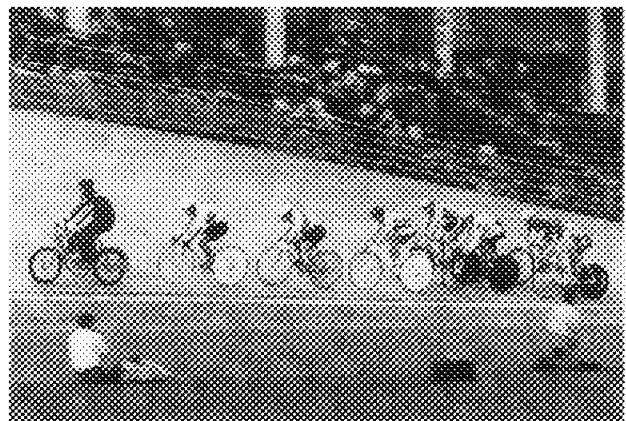


写真3 ケイリン競技で先頭誘導中の試作車